

# 要 旨

## 平成18年7-9月期の先行きDI

- ・売上高の現状判断は改善し、先行きは、ASEAN4及び中国を中心にわずかな改善を見込む。欧州の大幅な悪化が目立つ。
- ・設備投資額の現状判断は、すべての地域で改善。先行きは、すべての地域で悪化を見込むも、欧州を除くすべての地域で2桁台の水準を維持。
- ・従業者数は、アジア地域ではやや改善するも、北米及び欧州で悪化し、わずかに悪化。

## 平成18年 1-3 月期の実績

- ・売上高は、3期連続して伸び率を低下。アジア地域では、NIEs3は11期ぶりに減少。ASEAN4は1桁台の増加にとどまるも、中国は引き続き増加。北米及び欧州は増加。
- ・設備投資額は、13期ぶりに減少。アジア地域では中国が7期ぶりに減少。ASEAN4及びNIEs3は引き続き増加。欧州は減少し、北米は電気機械の減少により大幅に減少。
- ・従業者数は、アジア地域で引き続き増加。北米はやや減少し、欧州はわずかに減少。

今回調査のポイント

調査時点：平成18年5月中旬

### 1. 売上高先行きDI<sup>\*1</sup>は、22.2%ポイントで先行きはわずかに改善を見込む。実績は、前年同期比5.1%増と3期連続伸び率を低下。

現状判断DIは、中国<sup>\*2</sup>及びNIEs3<sup>\*3</sup>を中心に改善。先行きDIは、欧州を除くすべての地域で、2桁台のプラス水準。先行きDIの前期比は、わずかに改善。アジア地域では中国及びASEAN4<sup>\*4</sup>が改善し、NIEs3は悪化。北米はやや改善したものの、欧州は大幅な悪化を見込む。

実績は、3期連続して伸び率を低下。アジア地域では、ASEAN4は輸送機械の大幅な減少により、15期ぶりに1桁台の増加にとどまった。NIEs3は電気機械及び輸送機械の減少により、11期ぶりに減少。中国は電気機械が伸び悩むも、輸送機械の依然高い伸びにより、引き続き増加。北米は電気機械及び輸送機械が伸び悩み1桁台の増加。欧州は化学を除く主要業種の増加から、増加に転じた。

### 2. 設備投資額先行きDIは、14.1%ポイントで先行き悪化を見込む。実績は、前年同期比2.7%減と13期ぶりに減少。

現状判断DIは、すべての地域で改善し、欧州を除くすべての地域で2桁台のプラス水準。先行きDIは、すべての地域で悪化し、欧州を除くすべての地域で、2桁台のプラス水準を維持。先行きDIの前期比はすべての地域で悪化を見込む。アジア地域では、中国は電気機械及び輸送機械の悪化により悪化。ASEAN4は輸送機械はわずかに改善したものの、電気機械の大幅な悪化により悪化。NIEs3は主要業種の悪化により悪化。北米は輸送機械及び電気機械の悪化により悪化。欧州は電気機械の大幅な悪化により悪化。

実績は、13期ぶりに減少。欧州は輸送機械の大幅な減少により8期ぶりに減少。北米は輸送機械が減少し、電気機械も大幅に減少したことにより、引き続き減少。アジア地域は11期ぶりに1桁台の増加にとどまった。ASEAN4は電気機械の大幅な増加により引き続き増加。NIEs3は電気機械、輸送機械の増加により、4期連続して大幅な増加。中国は輸送機械が増加するも、電気機械の大幅な減少により、7期ぶりに減少。

### 3. 従業者数先行きDIは、8.0%ポイント。実績は、前年同期比4.7%増と引き続き増加。

現状判断DI、先行きDIともに、欧州を除くすべての地域でプラス水準。先行きDIの前期比は、わずかに悪化。アジア地域ではNIEs3が悪化、中国はやや改善し、ASEAN4はわずかに改善。北米は電気機械の悪化により悪化。欧州は電気機械、輸送機械の悪化により、やや悪化。

実績は、アジア地域では引き続き増加。中国は電気機械、輸送機械等の増加により引き続き増加。ASEAN4は、電気機械及び一般機械の増加により増加。NIEs3は、輸送機械の増加によりやや増加。北米は電気機械の減少によりわずかに減少。欧州は輸送機械は増加したものの、電気機械が引き続き減少したため、わずかに減少した。

注 \*1：DIの調査期間を、「現状判断」、「先行き」に分割し、それぞれ3ヶ月で調査

・DI=「増加と回答した企業の割合」 「減少と回答した企業の割合」

・現状判断DIの前期比 = 「平成18年4-6月DI(現状判断)」 - 「平成18年1-3月DI(現状判断)」

・先行きDIの前期比 = 「平成18年7-9月DI(先行き)」 - 「平成18年4-6月DI(現状判断)」

\*2 中国：香港を含む。 \*3 NIEs3：シンガポール、台湾、大韓民国

\*4 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア

1. 売上高

□売上高の現状判断DI（18年4-6月）の前期比は、9.6%ポイントと改善。先行きDI（18年7-9月）の前期比は、0.5%ポイントとわずかに改善。

- ・現状判断DIは、中国及びNIEs3が大幅に改善し、すべての地域で2桁台のプラス水準。
- ・先行きDIは、NIEs3及び欧州を除くすべての地域で改善。アジア地域ではASEAN4及び中国が改善。一方、欧州は電気機械の大幅な悪化等から、マイナス水準に転じた。

□売上高実績は、前年同期比 5.1%増と 3期連続して伸び率を低下。アジア地域では、NIEs3は、輸送機械が 9期ぶりに減少したため、11期ぶりに減少。ASEAN4は、輸送機械が伸び悩み、15期ぶりに 1桁台の増加。中国は、引き続き増加。北米は、輸送機械は増加したものの、電気機械が伸び悩み、1桁台の増加。欧州は、化学を除く主要業種の増加により、増加に転じた。

（参考）海外経済 世界の景気は着実に回復している。アメリカでは、景気は拡大している。アジアでは、中国等で景気は拡大が続いている。台湾、シンガポールでは外需を中心に景気は拡大している。マレーシアでは内需を中心に景気は拡大している。タイでは景気の拡大は緩やかになっている。韓国では景気は緩やかに拡大している。ユーロ圏では、景気は緩やかに回復しており、英国の景気は回復している。（月例経済報告(平成18年6月)より抜粋）

- (1) 売上高現状判断DI(18年4-6月)は、21.7%ポイントと前期現状判断DI(18年1-3月)に比べ9.6%ポイントと改善。

先行きDI(18年7-9月)は、22.2%ポイントと  
今期現状判断DI(18年4-6月)に比べ、同 0.5%  
ポイントとわずかな改善となった。

(1表、1図、2図)

現状判断DIは、アジア地域が大幅に改善し、すべての地域で2桁台のプラス水準。

先行きDIは、欧州を除くすべての地域で引き続き2桁台のプラス水準となった。

先行きDIの前期比は、0.5%ポイントとわずかに改善。アジア地域では、中国は電気機械及び輸送機械の改善により改善。ASEAN4は、主要業種の改善により改善。NIEs3は、電気機械は改善したものの、輸送機械の大幅な悪化により悪化。北米は、輸送機械が悪化したものの、電気機械の改善により、わずかに
- 改善。欧州は、輸送機械が大幅に悪化し、電気機械、一般機械及び化学も悪化したため、大幅に悪化し、マイナス水準に転じた。

(2) 売上高実績(ドルベース)は、前年同期比 5.1%増と3期連続して伸び率を低下。

(1表、1図、3図)

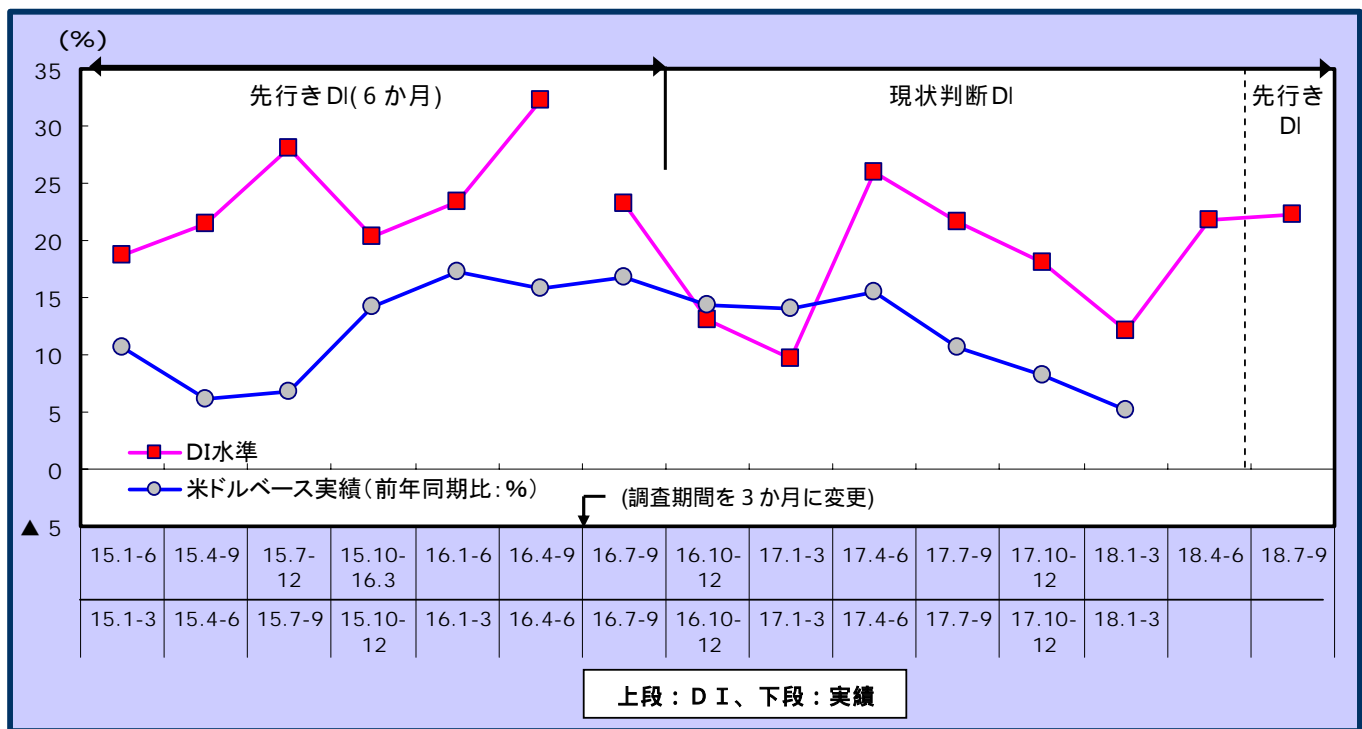
アジア地域では、ASEAN4は、輸送機械が伸び悩み、電気機械も引き続き低い伸びとなり、15期ぶりに1桁台の増加にとどまった。NIEs3は、輸送機械が減少し、電気機械及び一般機械も減少したため、11期ぶりに減少した。中国は、電気機械が1桁台の伸びとなったものの、輸送機械が依然として好調なことから、引き続き増加。北米は、輸送機械が7期ぶりに1桁台の増加にとどまり、電気機械も伸び悩んだため、3期連続で1桁台の増加となった。欧州は、化学を除く主要業種の増加から、増加に転じた。

1表 売上高のDI及び実績（地域・主要業種別）

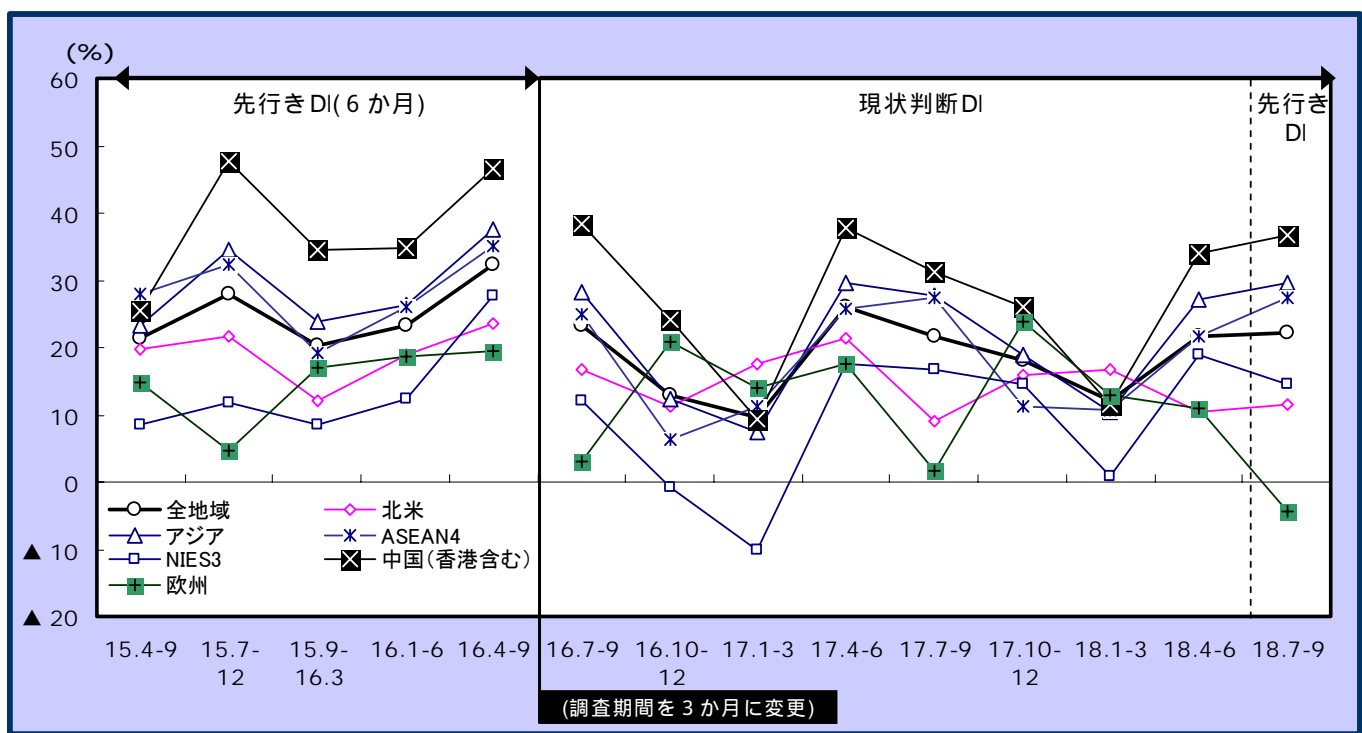
（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %）

	DI			前期比		実績 (前年同期比)		DI			前期比		実績 (前年同期比)
	前期調査	今 期 調 査						前期調査	今 期 調 査				
	現状判断 (18.1-3)	現状判断 (18.4-6)	先行き (18.7-9)	現状判断 ( - )	先行き ( - )			現状判断 (18.1-3)	現状判断 (18.4-6)	先行き (18.7-9)	現状判断 ( - )	先行き ( - )	
計 (地域・業種)	12.1	→ 21.7	→ 22.2	( 9.6 )	0.5	5.1	輸送機械	26.6	→ 15.5	→ 10.3	( 11.1 )	5.2	6.1
北米	16.6	→ 10.5	→ 11.4	( 6.1 )	0.9	4.2	電気機械	2.9	→ 15.6	→ 19.6	( 12.7 )	4.0	2.2
アジア	10.3	→ 27.0	→ 29.7	( 16.7 )	2.7	5.0	一般機械	11.3	→ 25.9	→ 23.2	( 14.6 )	2.7	11.7
ASEAN4	10.8	→ 21.7	→ 27.5	( 10.9 )	5.8	2.5	化学	20.9	→ 29.0	→ 26.4	( 8.1 )	2.6	4.6
NIEs3	0.8	→ 19.0	→ 14.6	( 18.2 )	4.4	4.7	鉄鋼	4.5	→ 24.6	→ 31.6	( 20.1 )	7.0	10.4
中国 (香港含む)	11.6	→ 34.0	→ 36.7	( 22.4 )	2.7	12.7							
欧州	13.0	→ 10.9	→ 4.4	( 2.1 )	15.3	3.4							

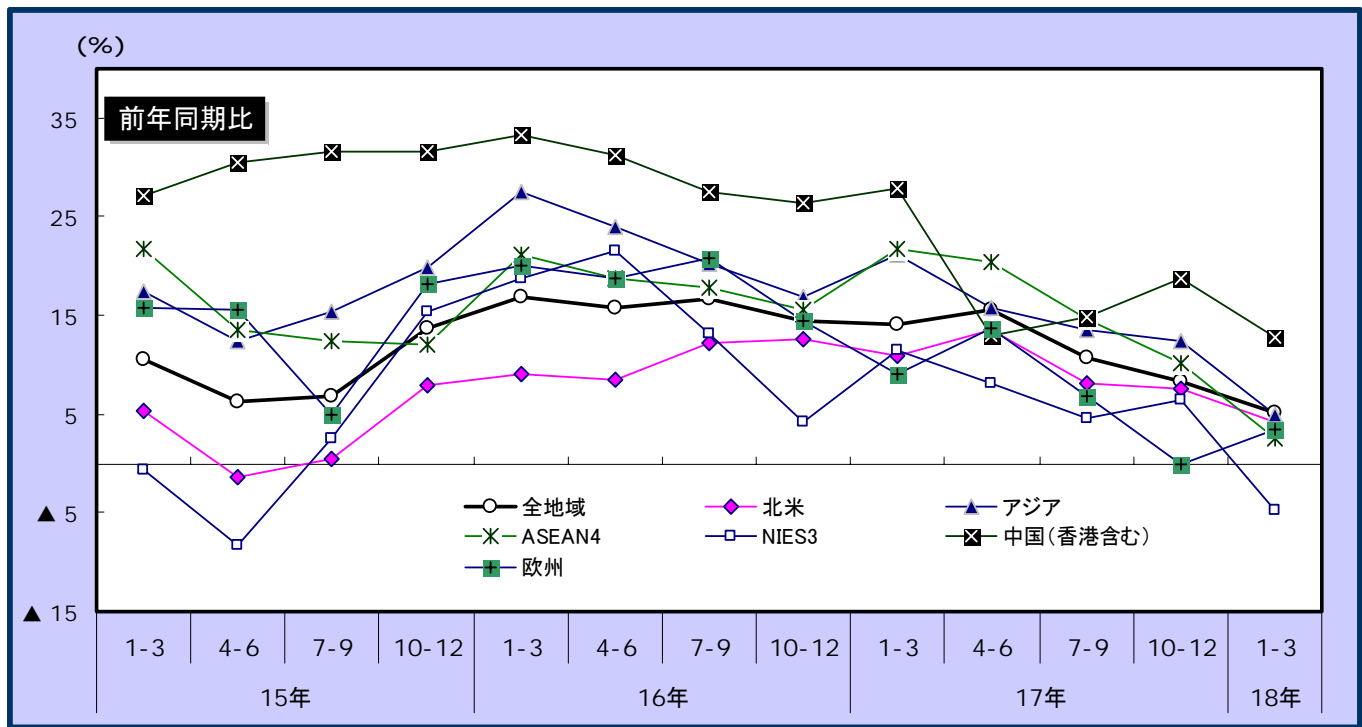
1図 売上高のDIと実績（ドルベース）の推移（全地域）



2図 売上高DIの推移（地域別）



3図 売上高実績（ドルベース）の推移（地域別）





## 2. 設備投資額（土地を除く固定資産取得額）

- 設備投資額の現状判断DI（18年4-6月）の前期比は、すべての地域で改善。先行きDI（18年7-9月）の前期比は、すべての地域で悪化を見込む。
- ・現状判断DIは、すべての地域で改善し、欧州を除くすべての地域で2桁台のプラス水準。
  - ・先行きDIは、すべての地域で悪化するも、欧州を除き、2桁台のプラス水準を維持。
- 設備投資額の実績は、前年同期比 2.7%減と13期ぶりに減少。ASEAN4及びNIEs3を除くすべての地域で減少した。アジア地域は、11期ぶりに1桁台の増加にとどまった。NIEs3は、輸送機械及び電気機械の増加により、引き続き大幅に増加。ASEAN4は、電気機械の大幅な増加により2桁台の増加。他方、中国は、輸送機械は引き続き大幅に増加したが、電気機械及び化学の減少により、7期ぶりの減少となった。欧州は、電気機械は大幅に増加したが、輸送機械の大幅な減少により、8期ぶりに減少した。北米は、電気機械が4期連続大幅に減少し、輸送機械も減少に転じたため、4期連続の減少となった。

(1) 設備投資額の現状判断DI(18年4-6月)は、18.8%ポイントと前期現状判断DI(18年1-3月)に比べ、6.7%ポイントと改善した。すべての地域で改善し、欧州を除くすべての地域で2桁台の水準。

先行きDI(18年7-9月)は、14.1%ポイントと今期現状判断(18年4-6月)に比べ、4.7%ポイントと悪化した。すべての地域で悪化したものの、欧州を除く地域で2桁台のプラス水準を維持。

（2表、4図）

先行きDIの前期比は、4.7%ポイントと悪化。アジア地域(前期比 5.3%ポイント)では、中国(同 7.3%ポイント)は、電気機械及び輸送機械の悪化により悪化。ASEAN4(同 3.5%ポイント)は、輸送機械はわずかに改善したが、電気機械の悪化により悪化。NIEs3(同 3.8%ポイント)は、主要業種の悪化により悪化した。北米(同 2.1%ポイント)は、化学は改善したが、輸送機械等の悪化により悪化。欧州(同 3.2%ポイント)は、輸送機械が悪化し、電気機械も大幅に悪化したことにより悪化。

(2) 設備投資額の実績(ドルベース)は、前年同期比 2.7%減と13期ぶりに減少。（2表、5図）

アジア地域(前年同期比 9.4%増)では、NIEs3(同 49.0%増)は、輸送機械が引き続き増加し、電気機械も大幅に増加したことから、4期連続大幅に増加した。ASEAN4(同 15.9%増)は、輸送機械が増加し、電気機械も大幅に増加したことから、2桁台の増加となった。中国(同 14.5%減)は、輸送機械は引き続き大幅に増加したが、電気機械が大幅に減少したことから、7期ぶりの減少となった。欧州(同 14.7%減)は、電気機械は大幅に増加したが、輸送機械が大幅に減少したため、8期ぶりの減少となった。北米(同 23.7%減)は4期連続の減少。電気機械(同 72.0%減)は4期連続大幅減少。輸送機械(同 4.3%減)は2期ぶりの減少となった。

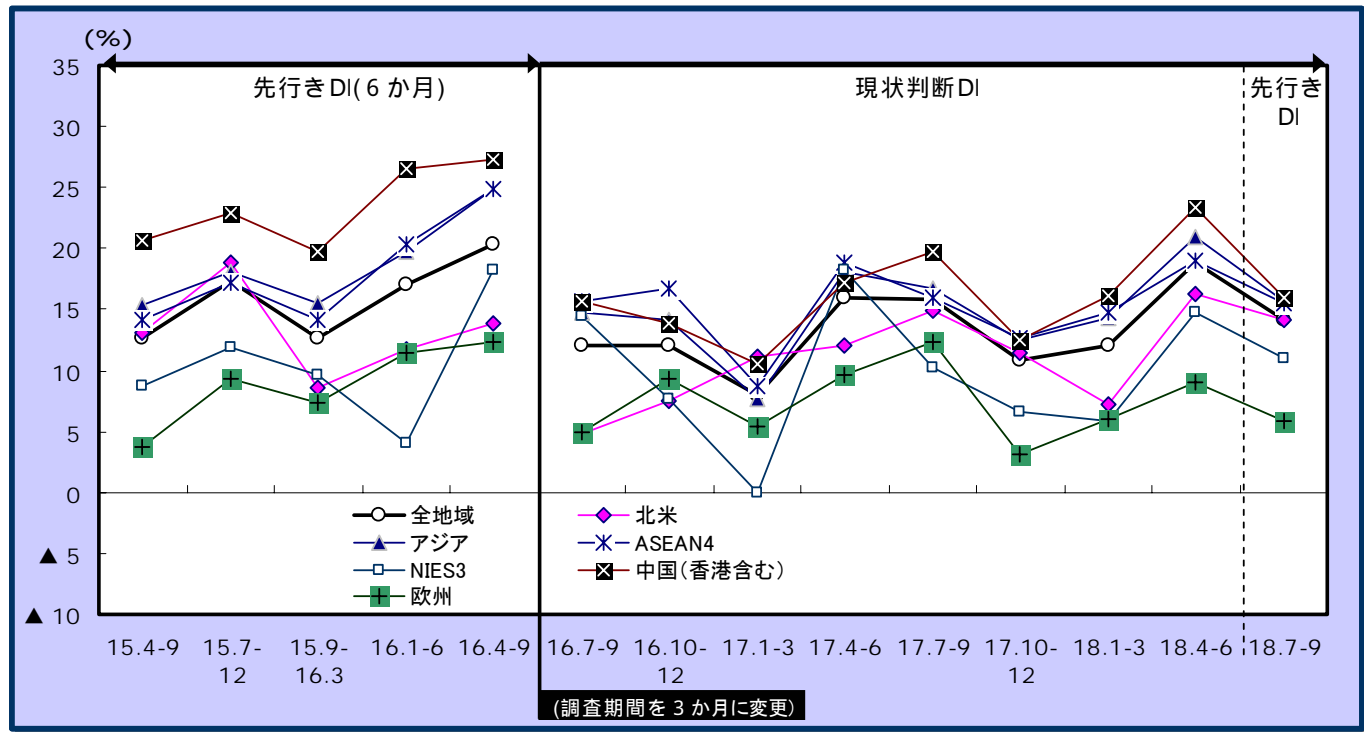
2表 設備投資額のDI及び実績（地域・主要業種別）

（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %）

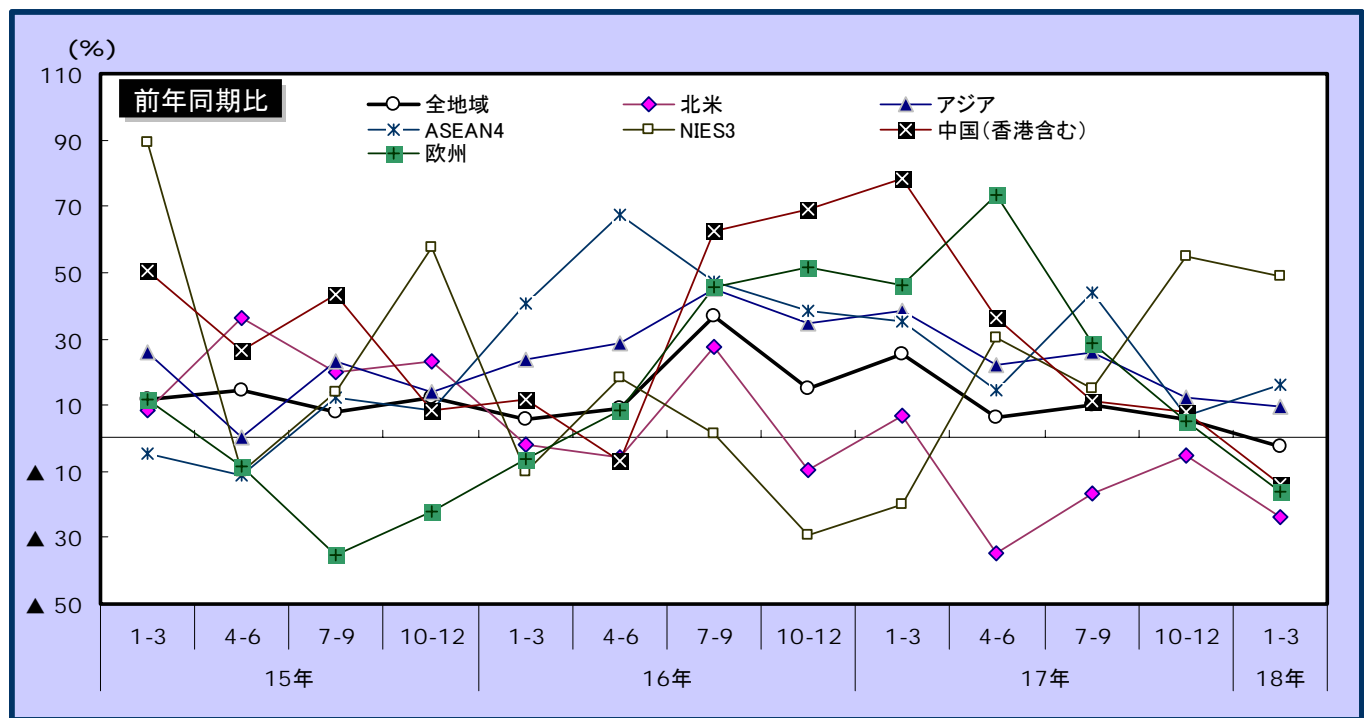
	DI					実績 (前年同期比)		
	前期調査			今 期 調 査			前期比	
	現状判断 (18.1-3)	現状判断 (18.4-6)	先行き (18.7-9)	現状判断 ( - )	先行き ( - )			
計 ( 地域・業種 )	12.1	→	18.8	→	14.1	( 6.7 )	4.7	2.7
北米	7.2	→	16.2	→	14.1	( 9.0 )	2.1	23.7
アジア	14.3	→	20.9	→	15.6	( 6.6 )	5.3	9.4
ASEAN4	14.7	→	19.0	→	15.5	( 4.3 )	3.5	15.9
NIEs3	5.8	→	14.8	→	11.0	( 9.0 )	3.8	49.0
中国 ( 香港含む )	16.1	→	23.3	→	16.0	( 7.2 )	7.3	14.5
欧州	6.0	→	9.1	→	5.9	( 3.1 )	3.2	14.7

	DI					実績 (前年同期比)		
	前期調査			今 期 調 査			前期比	
	現状判断 (18.1-3)	現状判断 (18.4-6)	先行き (18.7-9)	現状判断 ( - )	先行き ( - )			
輸送機械	18.4	→	22.5	→	17.9	( 4.1 )	4.6	8.9
電気機械	9.7	→	16.1	→	7.6	( 6.4 )	8.5	18.9
一般機械	15.2	→	14.5	→	8.9	( 0.7 )	5.6	13.1
化学	8.2	→	14.3	→	12.3	( 6.1 )	2.0	23.3
鉄鋼	11.5	→	18.8	→	20.0	( 7.3 )	1.2	28.0

4図 設備投資額DIの推移（地域別）



5図 設備投資額実績(ドルベース)の推移(地域別)



- 従業者数先行きDI（18年7-9月）は、8.0%ポイント。欧州を除くすべての地域でプラス水準。
- ・現状判断DI（18年4-6月）は、欧州を除く地域でプラス水準。前期比では、NIEs3を除くすべての地域で悪化した。
  - ・先行きDIの前期比は、わずかに悪化。北米はやや悪化し、欧州はわずかに悪化した。アジア地域では、NIEs3は悪化し、中国及びASEAN4は改善した。
- 従業者数の実績（平成18年3月末）は、前年同期比 4.7%増と引き続き増加。アジア地域では、中国は、同 9.6%増と引き続きの増加。ASEAN4は同 2.9%の増加、NIEs3は同 1.2%とやや増加した。欧州は同 0.1%減とわずかに減少。北米は、同 1.2%減とやや減少した。

(1) 従業者数現状判断DI(18年4-6月)は、8.1%ポイントで前期現状判断DI(18年1-3月)に比べ、1.5%ポイントとやや悪化。

先行きDI(18年7-9月)は、8.0%ポイントで今期現状判断DI(18年4-6月)に比べ 0.1%ポイントとわずかに悪化。（3表）

先行きDIの前期比は、0.1%ポイントとわずかに悪化した。アジア地域は、同 0.7%ポイントとわずかに改善。中国は、同 1.1%ポイントとやや改善し、ASEAN4も同 0.3%ポイントとわずかに改善した。NIEs3は、同 2.4%ポイントと悪化した。北米は、輸送機械は改善したものの、電気機械が悪化したため、同 0.9%ポイントとわずかに悪化。欧州は、輸送機械、電気機械の悪化により、同 1.5%ポイントとやや悪化した。

(2) 従業者数(平成18年3月末)は 283万人で、前年同期比 4.7%増と引き続き増加した。

（3表）

アジア地域は、前年同期比 6.5%増と引き続き増加。中国は、輸送機械及び電気機械が増加し、同 9.6%増と引き続き増加した。ASEAN4は、輸送機械が1桁台の伸びとなったものの、電気機械及び一般機械の増加により、同 2.9%増の増加。NIEs3は、輸送機械が増加し、電気機械もわずかに増加したため、同 1.2%増とやや増加した。欧州は、輸送機械は増加したものの、電気機械が引き続き減少したため、同 0.1%減とわずかに減少した。北米は、輸送機械は増加したものの、電気機械が引き続き減少したことにより、同 1.2%減とわずかに減少した。

3表 従業者数のDI及び実績（地域・主要業種別）

（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %）

	DI					実績 (前年同期比)
	前期調査		今 期 調 査		前期比	
	現状判断 (18.1-3)	現状判断 (18.4-6)	先行き (18.7-9)	現状判断 ( - )		
計 (地域・業種)	9.6 →	8.1 →	8.0	( 1.5 )	0.1	4.7
北米	10.1 →	7.5 →	6.6	( 2.6 )	0.9	1.2
アジア	10.5 →	10.2 →	10.9	( 0.3 )	0.7	6.5
ASEAN4	8.8 →	7.5 →	7.8	( 1.3 )	0.3	2.9
NIEs3	0.4 →	4.0 →	1.6	( 3.6 )	2.4	1.2
中国 (香港含む)	15.2 →	14.3 →	15.4	( 0.9 )	1.1	9.6
欧州	0.7 →	2.6 →	4.1	( 3.3 )	1.5	0.1

	DI					実績 (前年同期比)
	前期調査		今 期 調 査		前期比	
	現状判断 (18.1-3)	現状判断 (18.4-6)	先行き (18.7-9)	現状判断 ( - )		
輸送機械	18.3 →	8.9 →	9.9	( 9.4 )	1.0	7.3
電気機械	6.7 →	7.7 →	9.0	( 1.0 )	1.3	4.2
一般機械	10.8 →	11.6 →	9.7	( 0.8 )	1.9	11.5
化学	9.7 →	8.1 →	6.2	( 1.6 )	1.9	0.9
鉄鋼	8.7 →	5.3 →	8.9	( 3.4 )	3.6	1.9